



低炭素社会の実現

BUILDING A LOW CARBON SOCIETY



CO₂排出原単位 / CO₂サプライチェーン排出量 / CO₂削減の研究

2018年度実績

CO₂排出原単位 表1

0.457kg-CO₂/kWh (前年度比 ▲0.019kg-CO₂/kWh)

サプライチェーン全体のCO₂排出量 表2

中部電力では「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン」(環境省・経済産業省)に基づき、当社におけるサプライチェーン全体のCO₂排出量を算定しています。

太陽光発電の研究 図3

太陽光発電の出力予測や蓄電システムによる太陽光発電の大量導入時における系統安定化対策に関する研究を行っています。

スマートハウス

スマートハウスに関する実証研究等を行っています。

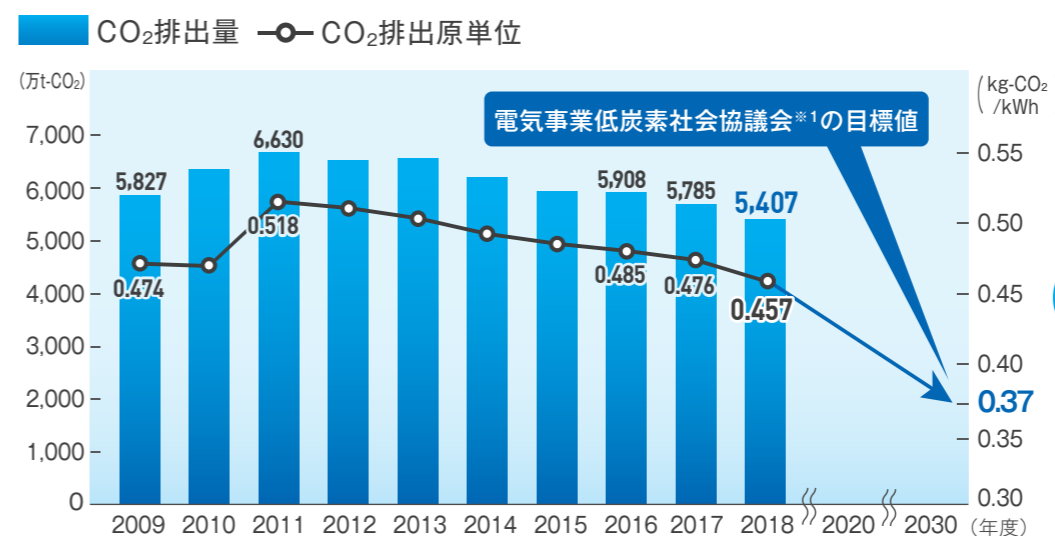
今後の取り組み

- 引き続き、CO₂の排出抑制に努めていきます。
- 今後も地球温暖化対策の推進に向け、サプライチェーン排出量の把握に努めていきます。
- 太陽光発電など分散型電源の大量普及に向けた対応技術の研究を推進します。
- スマートハウスに関する研究を推進します。

(※1) 電気事業低炭素社会協議会は、電力業界が実効性ある地球温暖化対策を行うため、会員事業者の取り組みを促進・支援する目的として2016年に設立しました。2030年度に国全体の排出係数0.37kg-CO₂/kWh程度(使用端)を目指しています。

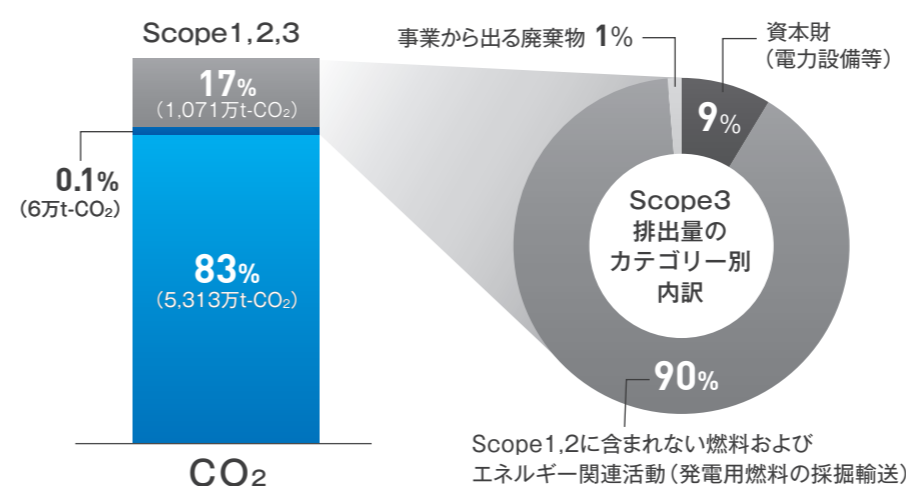
(※2) 温室効果ガスとは、CO₂、N₂O、SF₆をCO₂換算して表したものです。なお、中部電力単体の排出量で、連結子会社を含みません。

表1 中部電力のCO₂排出量と排出原単位の推移・見通し(基礎排出ベース)



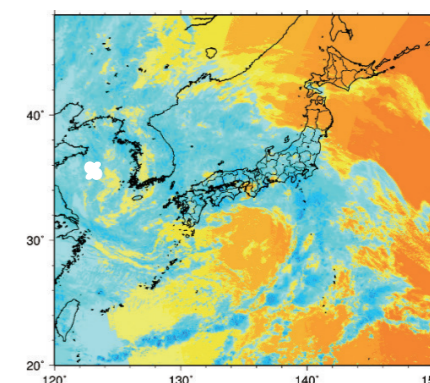
2018年度実績
CO₂排出原単位
0.457
kg-CO₂/kWh
基礎排出ベース

表2 サプライチェーン全体の温室効果ガス※2 総排出量



- Scope 1: 直接排出(発電等の燃料使用に伴うCO₂排出量)
- Scope 2: 事業場(オフィス)の電気使用に伴うCO₂排出量
- Scope 3: その他の間接排出量

図3 太陽光発電の研究



▲太陽光発電出力予測



▲デジタルシミュレータ